

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	）いろは横丁
所在地	仙台市青葉区一番町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

）中央公設市場が誕生した頃、一番町通りと南光院丁通りを結ぶ２本の通路に名前がついていた。青葉通り側の通路を「青葉小路」といい衣料品や雑貨など物販店の通りであった。南町通り側の通路は「松竹小路」といい、食料品店や飲食店が軒を連ねていた。当初は通りによって店の業種が分けられていたが、昭和 30 年代頃から店の入れ替わりによって分けが崩れてきた。いまだに、共同便所や共同炊事場、炊事場は使用されているかは不明だが、井戸の跡が残る反面、京都のイノダ珈琲店の仙台店など新しい店舗があるが、古くからの呉服店や八百屋などがいまだに 100 軒ほどが営業を続けている。

【写真添付】



路地	面積	約 11 ha	路地の延長	2 小路で約 200m後南北に
のまち	成り立ち、	壱貳参横丁の歴史は仙台空襲の復興から始まる。昭和 20 年 7 月 10 日の仙台空襲では、仙台の街は 1 万 1 千発余の焼夷弾と 8 発の高性能爆弾による爆撃を受け、焦土と化した。焼け野原になってしまった仙台の街なかで、人々は道端に戸板やごさを敷いて物を並べて売っていた。やがて、そのような露天商に声をかけて市場を作ろうという人々が出てきた。昭和 21 年 3 月に市場の話が持ち上がり、昭和 21 年 8 月には「中央公設市場」が誕生した。現在の壱貳参横丁の前身である。毎日、毎日生活必需品を買い求める人で市場は混雑し、戦後の混乱期、仙台で最初に復興したのが中央公設市場である。		
まち	特色等			
の概要		関連 URL) http://www.sendai-iroha.com/		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。